

平成26年4月入学

宇都宮大学大学院工学研究科
博士前期課程第二次学生募集要項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人留学生特別選抜
学部3年次生特別選抜

宇都宮大学大学院工学研究科

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2
電 話 028-689-6003
FAX 028-689-6019

工学研究科（博士前期課程）

アドミッションポリシー

機械知能工学専攻

1. 数学・物理などの基礎科目並びに機械系専門科目について十分な学力を持つ人
2. 自然科学及び機械知能工学に関心を持ち，創造的・独創的に思考しながら，研究課題に取り組む意欲を持つ人
3. 「ものづくり」に大いに興味があり，実践的・応用的ものづくりに挑戦しようとする意欲を持つ人

電気電子システム工学専攻

1. 電気電子工学に関する十分な基礎学力を有する人
2. 専門分野の高度な知識の習得，ならびに自立して研究に励む意欲を持つ人
3. 自主性と協調性を備え，高度な専門知識を活かして積極的に社会に貢献しようと志す人

物質環境化学専攻

1. 「化学」を専門として活躍するために，深い知識や能力を身につけたい人
2. 自然科学・工学の基礎学力を持ち，新物質開発，環境問題などに対する創造的能力を高めたい人
3. 専門分野での国際的なコミュニケーション能力を高めたい人

地球環境デザイン学専攻

建築環境デザイン学コース

1. 建築分野の高度な学習と研究に意欲的に取り組み，倫理観を身につけ社会の発展に貢献する専門家を志す人
2. 地球環境と建築との関わりを学び，歴史を尊重し，工学と芸術の両面からの視点にたった新たな創造へのチャレンジを望む人

社会基盤デザイン学コース

1. 社会基盤の整備に関わる高度な学習と研究に意欲的に取り組み，倫理観を身につけその分野の専門家を積極的に志す人
2. 建設分野の専門知識に加えて様々な工学的知識・技術を応用して，社会基盤の整備や地球環境の保全に貢献したいと望む人

情報システム科学専攻

1. 情報システム科学の基礎科目に十分な学力を有する人，または，他の分野で深い知識を身につけた人で，さらに情報システム科学の分野の学習や研究に意欲を持つ人
2. 常に問題意識を持ち，解決に向けて自ら考え，行動を起こす意欲と能力を備えている人
3. 情報システム科学やその関連分野における専門知識を身につけて，積極的に社会に貢献しようと考えている人

学際先端システム学専攻

1. 工学専門分野の基礎学力と様々な自然科学分野への関心を有する人
2. 先端的研究に積極的にチャレンジする意欲のある人
3. 高度な専門知識と学際的な視野で社会に貢献しようとする人

平成 26 年 4 月入学

宇都宮大学大学院工学研究科博士前期課程第二次学生募集要項

I. 専攻別募集人員

専攻名	選抜区分	募集人員
機械知能工学	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
電気電子システム工学	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
物質環境化学	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	なし
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
地球環境デザイン学 建築環境デザイン学コース 社会基盤デザイン学コース	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
情報システム科学	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
学際先端システム学 オプティクスコース IT スペシャリストコース 融合領域システムコース	一般選抜	若干名
	学部 3 年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名

Ⅱ. 入学者選抜方法

選抜の方法には一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜及び学部3年次生特別選抜の4種類があります。

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験及び口述試験)及び出願書類を総合して行います。

ただし、社会人特別選抜は、筆記試験を課しません。

1. 一般選抜

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成26年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項により学士の学位を授与された者及び平成26年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、工学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、工学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 工学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認める者で、入学時までに22歳に達する者

注1) ⑥⑧⑨で出願しようとする者は、11月21日（木）までに工学部・工学研究科学生係へ問い合わせてください。

注2) ⑩で出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、必要書類を一括して工学部・工学研究科学生係に提出してください。

なお、申請方法等については、21頁を参照してください。

(2) 出 願 手 続

① 出 願 期 間

平成26年1月7日(火)から1月10日(金)まで。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」として1月10日(金)16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

入 学 志 願 票	本学所定用紙。一般選抜用を使用してください。
卒業(見込み)証明書	本学卒業(見込み)の者については不要です。
成 績 証 明 書	出身大学(学部)長、短期大学長又は高等専門学校長等が作成し、 厳封したもの。本学卒業(見込み)の者については不要です。
写真票及び受験票	本学所定用紙。それぞれ、出願前3カ月以内に撮影の脱帽上半身(4×3 cm)の写真を所定の位置に貼ってください。
受 験 許 可 書	現在、大学院に在学中、あるいは官庁、会社等に在職中の者は、 本学所定用紙を用い、所属長発行のものを提出してください。
学位授与証明書等	1. 3頁の出願資格②により出願する者は、学位授与証明書 2. 3頁の出願資格②により出願する者のうち学士の学位を授与される見込みの者は、大学評価・学位授与機構が発行する「学位授与の申請を受理している旨の証明書」又は在籍する学校長の発行する「学位授与申請見込み証明書」
住 民 票 等 (日本の国籍を有しない者のみ提出)	日本の国籍を有しない者は、下記の書類を提出してください。ただし、 本学の在学者(科目等履修生及び研究生を含む)については不要です。 1. 日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票の写し(在留期間・在留資格を明記したもの) 2. 日本語の学力を表す証明書
国 費 外 国 人 留 学 生 証 明 書	出願時に、国費外国人留学生である者は、在学している大学発行の 証明書又は身分を確認できる書類等を提出してください。
返 送 用 封 筒	受験票送付用封筒。(長3の封筒に住所、氏名明記、簡易書留郵便料 (380円)分の切手貼付のもの) ただし、願書を持参する場合は不要です。
入 学 検 定 料	30,000円・・・本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座に振り込むこと。 ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「入学志願票」の所定の欄に貼付してください。
TOEIC スコアシート	受験する試験区分(系)の試験科目特記事項に従ってTOEICスコアシートを提出する場合があります。TOEICテストには、TOEIC公開テストとTOEIC IPテスト(カレッジ TOEICを含む。)がありますが、TOEIC公開テストのスコアのみが有効です。TOEICのOfficial Score Certificate(公式認定証)の原本とその写し1部を提出してください。再発行されたものでも有効です。ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りです。なお、原本は出願受付後に返却いたします。

※ 学力を表す論文、報告書又は教員の推薦書等の書類を願書に添えて提出することもできます。

※ 出願書類のうち、英語以外の外国語文によるものは、訳文の提出を求める場合があります。

※ 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を行った者は、所定の届出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず工学部学生係に問い合わせてください。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科学生係

(3) 学 力 検 査

① 試験の日時及び場所

試験区分 (系)	月 日	科目名	時 間	場 所
機 械 系	1 月 23 日(木)	基礎科目	9 時 ～ 10 時 30 分	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		専門科目	13 時 ～ 16 時	
	1 月 24 日(金)	外 国 語	9 時 ～ 11 時	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
電 気 系	1 月 23 日(木)	筆記試験	9 時 ～ 12 時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
化 学 系	1 月 23 日(木)	基礎科目	9 時 ～ 12 時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
建 築 系	1 月 23 日(木)	基礎科目	9 時 ～ 12 時	
		専門科目	13 時 ～ 16 時	
	1 月 24 日(金)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
建 設 工 学 系	1 月 23 日(木)	基礎科目	9 時 ～ 12 時	
		専門科目	13 時 ～ 16 時	
	1 月 24 日(金)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
情 報 系	1 月 23 日(木)	基礎科目	9 時 ～ 11 時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	

② 試験科目及び口述試験

試験科目は試験区分ごとに定められています。各専攻は図 1 のように試験区分を指定していますので、6 つの試験区分（機械系、電気系、化学系、建築系、建設工学系、情報系）の中から、希望する専攻の指定する試験区分 1 つを選択してください。各専攻が、どの試験区分を指定しているかは、図 1 並びに 25 頁以降の「各専攻の教員・教育分野・担当授業科目の紹介／指定する試験区分」を参照してください。

指導教員による実質的指導時間を確保するため、あるいは、各研究室の施設・設備上の制約のため、指導教員の受け入れ人数に制限を設けている場合があります。この場合、受験生は、試験に合格しても、特定の指導教員の指導を受けられない可能性があります。そこで、受験生は、希望する専攻・指導教員を第 1 希望から第 4 希望まで指定することができます。（第 4 希望まで、すべて指定する必要はありません。）ただし、受験する試験区分は、希望するすべての専攻の指定するものと一致することが必要であり、希望できる専攻の組み合わせには制限があります。なお、各教員における受け入れ人数制限の詳細については、専攻に問い合わせてください。

専攻によって教育課程は異なっており、入学後、履修すべき科目等に違いがあります。第 1 希望とは異なる専攻を第 2 希望以下の専攻として希望する場合には、専攻の選択に注意してください。

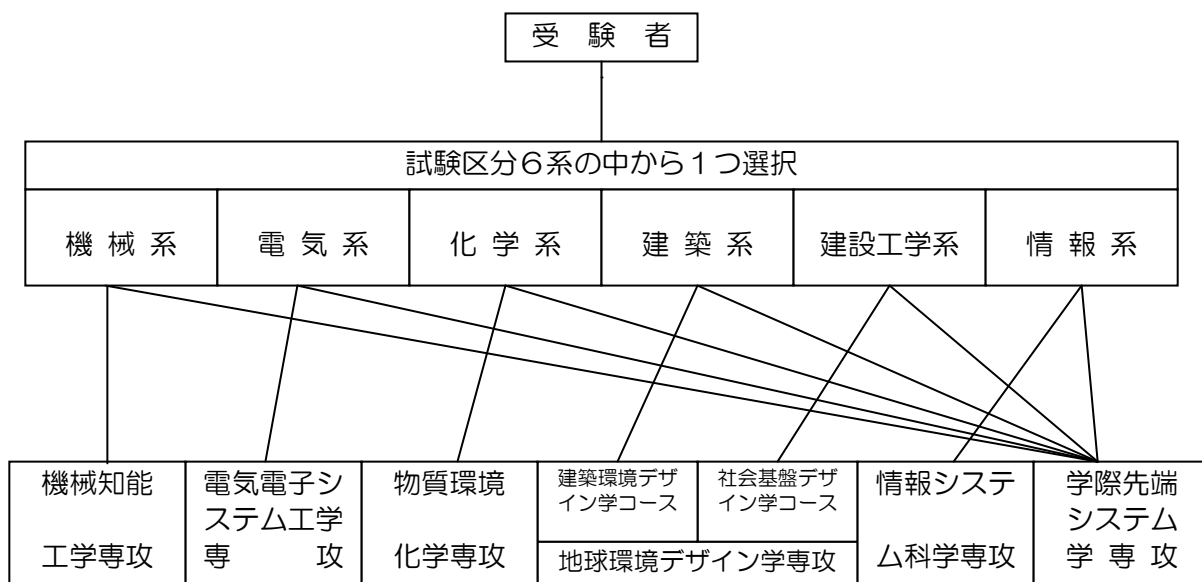


図1 専攻による試験区分（系）の指定

試験科目は次のとおりとし、口述試験を各試験区分別に行います。

ただし、機械知能工学専攻、電気電子システム工学専攻、物質環境化学専攻、地球環境デザイン学専攻、学際先端システム学専攻を希望する国費外国人留学生（研究留学生）及び外国政府派遣留学生については、筆記試験を免除します。

試験区分	基 礎 科 目	専 門 科 目	外国語
機 械 系	数 学	材料力学，機械力学，熱力学（伝熱を含む），流体工学，機械材料学，自動制御（計測を含む）の6科目から，それぞれ1問を出題，計6問のうちから4問選択	英 語
電 気 系	電気磁気学，電気回路		
化 学 系	有機化学，無機化学，物理化学，分析化学，化学工学の5科目から4科目選択	課しません。	
建 築 系	即日設計又は小論文のいずれかを選択	建築構造学，建築計画学，建築環境学，建築材料学につき各2問のうち1問ずつ選択 ただし，志望専門分野は2問解答	
建設工学系	数学，物理学	水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学につき各2問のうち1問ずつ選択	
情 報 系	線形代数，微積分学，離散数学，計算機システム，データ構造とアルゴリズム及び情報光学の6分野から2分野を選択	課しません。	

各系の試験区分については，試験科目の特記事項があるので注意してください。

③ 試験科目の特記事項

試験区分	特 記 事 項
機 械 系	外国語（英語）については、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点、又は筆記試験の得点を利用します。出願時にTOEICスコアシートを提出した場合は筆記試験を免除しますが、筆記試験を受験することもできます。出願時にTOEICスコアシートを提出し、かつ、筆記試験を受験した場合は、TOEICスコアシートによる換算点と筆記試験の得点のうち高いほうを利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては、問い合わせに応じます。また、システムに障害がない限り、機械知能工学専攻・機械システム工学科のWebページ（http://www.mech.utsunomiya-u.ac.jp/）でも閲覧できます。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限ります。
電 気 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限ります。
化 学 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点を利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては、問い合わせに応じます。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限ります。
建 築 系 建設工学系	1) 本学工学部建設学科出身者以外で、学際先端システム学専攻の教員を第1希望とする者は、専門科目として6頁に記された科目を解答する方法以外に、学際先端システム学専攻（建築学、建設工学分野）に関する小論文形式の問題を指定された数だけ専門科目の一部に置き換えて解答する方法を選ぶことができます。 ただし、この後者の方法で受験・解答した場合、第2希望以下の指導教員は、学際先端システム学専攻に属する教員から選ばなければなりません。 2) 外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC公開テスト（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限ります。
情 報 系	1) 筆記試験の基礎科目で出題する各分野について、おもな出題内容を表すキーワードは以下のとおりです。 線形代数：行列と行列式、連立1次方程式、線形空間と線形写像、固有値と固有ベクトル、行列の対角化とジョルダン標準形、2次形式 微積分学：数列と級数、テイラー級数と整級数、1変数関数および多変数関数の微積分、極値問題とその応用、広義積分 離散数学：整数の性質、集合、写像、関係、数え上げと組み合わせ、母関数、

試験区分	特 記 事 項
情 報 系	グラフ理論 計算機システム：コンピュータの構成と動作原理、命令セットの方式(アドレッシング法、データの表現)、制御・演算・記憶・入出力各装置の構成 データ構造とアルゴリズム：リスト、スタック、待ち行列、木、探索、ハッシュ、整列 情報光学：反射と屈折、幾何光学、波動光学、干渉、回折 2) 筆記試験の基礎科目として「基礎科目2分野を選択」の代わりに、「基礎科目1分野とプレゼンテーション」を認める場合があります。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」により受験が認められるのは、原則として理工系出身以外の者としします。プレゼンテーションでは、これまで行ってきた学習内容と今後の研究計画を要約して発表してもらい、これに関して質疑応答を行います。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」による受験を希望する者は、事前に、希望する指導教員と必ず連絡をとり、出願時に出身学校のシラバス（授業要目）の専門に関する部分の写し1部及び宛名を明記した返信用はがきを同封し、出願書類封筒に「プレゼンテーション希望」と朱書きしてください。提出された資料に基づき、「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験の可否を判定します。判定結果は平成26年1月16日（木）までに通知します。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験が認められた場合には、基礎科目については、6分野から1分野を選択し1時間で解答してください。また、「基礎科目2分野を選択」の受験が妥当であると判断された場合には「基礎科目2分野を選択」で受験しなければなりません。 3) 外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP, カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ○ TOEICスコア750点以上を満点とし、スコアに応じた換算を行います。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。

(4) 合 格 発 表

平成26年1月31日（金）13時（予定）工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また、合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。）なお、電話等による合否の照会には応じません。

(5) 注 意 事 項

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込みあるいは修了見込みにより出願した者が入学試験に合格したときは、入学するまでに「卒業証明書」「修了証明書」「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を提出してください。
- ② 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込みあるいは修了見込みにより出願したが、卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。
- ③ 各専攻において、学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

2. 社会人特別選抜

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まっています。しかし、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて就学する必要があるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の就学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学工学研究科では大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施しています。

教育方法の特例の概要は、次のとおりです。

- (1) 博士前期課程2年のうち原則として1年間は通常の時間帯において授業を受け研究を行い、また、1年間は夜間その他特定の時間又は時期において授業を受け研究を行うことができる。ただし、通常の時間帯とする年次を第1年次にするか、又は第2年次にするかは、指導教員と相談のうえ、入学時に届けるものとする。

特例の授業は、原則として平日の11・12時限（17:50～19:20）に設定する。

- (2) 修士論文のための研究に柔軟性を持たせており、企業における研究も、その内容によっては修士論文テーマとして認めている。

(1) 出願資格

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、受入の許可を得ることが必要です。また、出願時において企業等に勤務している場合は、所属長の許可も必要となります。

その上で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、工学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、工学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 工学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認める者で、入学時まで22歳に達する者
- 注1) ⑥⑧⑨で出願しようとする者は、11月21日(木)までに工学部・工学研究科学生係へ問い合わせてください。
- 注2) ⑩で出願しようとする者は、21頁を参照してください。

(2) 出 願 手 続

① 出 願 期 間

平成26年1月7日(火)から1月10日(金)まで。受付時間は、9時から16時までとします。
 なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月10日(金)16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

入 学 志 願 票	本学所定用紙。なお、特別選抜用を使用してください。 社会人特別選抜志願者は、出願前に、希望指導教員の許可を得た上で、志願票に確認印を受け、提出してください。
卒 業 証 明 書	本学卒業の者については不要です。
成 績 証 明 書	出身大学(学部)長、短期大学長又は高等専門学校長等が作成し、 厳封したもの。本学卒業の者については不要です。
写 真 票 及 び 受 験 票	本学所定用紙。それぞれ、出願前3カ月以内に撮影の脱帽上半身(4×3 cm)の写真を所定の位置に貼ってください。
受 験 許 可 書	本学所定用紙(所属長が発行したもの。出願時に企業等に勤務している者のみ)。
業 績 報 告 書	A4判1枚、様式随意。
研究(希望)計画書	A4判1枚、様式随意。
学位授与証明書	出願資格②により学士の学位を授与された者。
住 民 票 等 (日本の国籍を有しない者のみ提出)	日本の国籍を有しない者は、下記の書類を提出してください。 1. 日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票の写し(在留期間・在留資格を明記したもの) 2. 日本語の学力を表す証明書。
返 送 用 封 筒	受験票送付用封筒(長3の封筒に住所、氏名明記、簡易書留郵便料(380円)分の切手貼付のもの)。 ただし、願書を持参する場合は不要です。
入 学 検 定 料	30,000円・・・本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座に振り込んでください。ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「入学志願票」の所定の欄に貼付してください。
TOEICスコアシート	受験する試験区分(系)の試験科目特記事項に従って TOEIC スコアシートを提出する場合があります。TOEIC テストには、TOEIC 公開テストと TOEIC IP テスト(カレッジ TOEIC を含む。)がありますが、TOEIC 公開テストのスコアのみが有効です。TOEIC の Official Score Certificate(公式認定証)の原本とその写しを提出してください。再発行されたものでも有効です。ただし、有効な TOEIC のスコアは、選抜試験日から2年以内に受験したものに限りです。 なお、原本は出願受付後に返却致します。

※ 出願書類のうち、英語以外の外国語文によるものには、訳文の提出を求める場合があります。

③ 出願書類及び入学検定料出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科学生係

(3) 学 力 検 査

① 試験の日時、科目及び場所

試験区分	月 日	科目名	時 間	場 所
機 械 系	1 月 24 日(金)	口述試験	13 時 ～ 16 時	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
電 気 系	1 月 23 日(木)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	
化 学 系	1 月 23 日(木)	口述試験	13 時 ～ 16 時	
建 築 系	1 月 24 日(金)	口述試験	13 時 ～ 16 時	
建 設 工 学 系	1 月 24 日(金)	口述試験	13 時 ～ 16 時	
情 報 系	1 月 23 日(木)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13 時 ～ 16 時	

☆ 口述試験は、志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究(希望)計画書の内容について行います。各専攻は図1のように試験区分を指定しています。6つの試験区分の中から、希望する専攻の指定する試験区分1つを選択してください。試験は、口述試験を各試験区分別に行います。なお、試験科目の特記事項を参照してください。

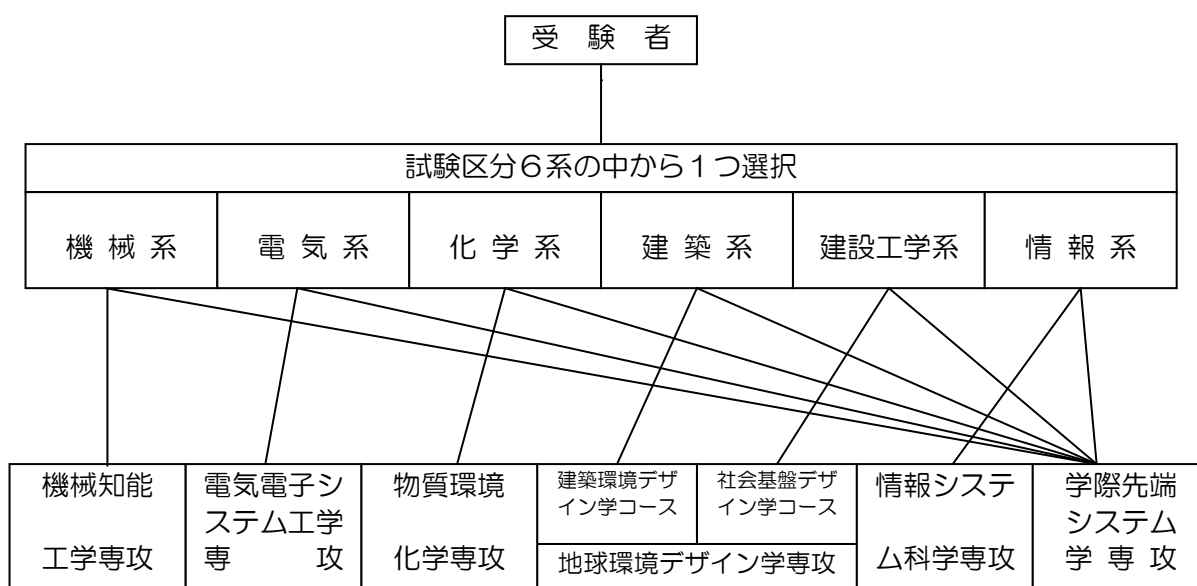


図1 (再掲) 専攻による試験区分(系)の指定

② 試験科目の特記事項

試験区分	特 記 事 項
電 気 系	外国語(英語)については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC (TOEIC IP, カレッジTOEICを除く) のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点 = (満点) × (TOEICのスコア) / 750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。

試験区分	特 記 事 項
情 報 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ○ TOEICスコア750点以上を満点とし、スコアに応じた換算を行います。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りです。

(4) 合 格 発 表

平成26年1月31日（金）13時（予定）工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また、合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。）なお、電話等による可否の照会には応じません。

(5) 注 意 事 項

各専攻において、学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

3. 外国人留学生特別選抜

(1) 出 願 資 格

日本の国籍を有しない者で、修学に必要な程度の日本語能力があり、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月末までに修了見込みの者
- ② 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認める者

注) ②で出願しようとする者は、11月21日(木)までに工学部・工学研究科学生係へ問い合わせてください。

(2) 出 願 手 続

① 出 願 期 間

平成26年1月7日(火)から1月10日(金)まで。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月10日(金)16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

一般選抜と同じ。ただし、志願票は特別選抜用を使用してください。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科学生係

(3) 学 力 検 査

① 試験の日時、科目及び場所

試験区分	月 日	科目名	時 間	場 所
機 械 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 10時30分	宇都宮大学 工学部・工学 研究科
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	9時 ～ 11時	
		口述試験	13時 ～ 16時	
電 気 系	1月23日(木)	筆記試験	9時 ～ 12時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
化 学 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
建 築 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
建 設 工 学 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
情 報 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 11時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	

試験科目は試験区分ごとに定められています。各専攻は図1のように試験区分を指定しています。6つの試験区分の中から、希望する専攻の指定する試験区分1つを選択してください。

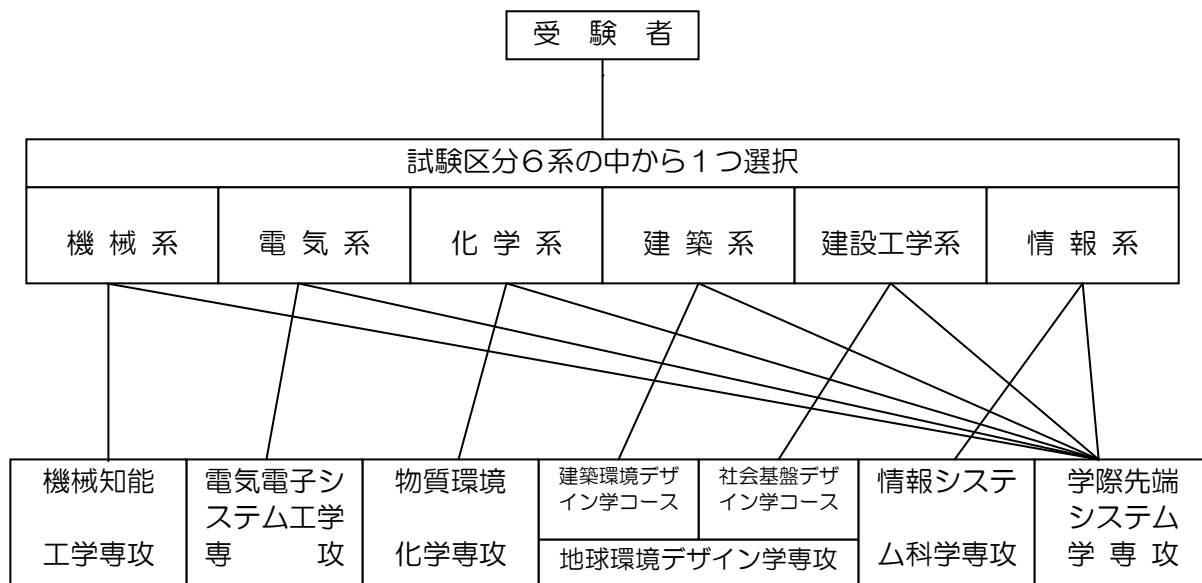


図 1（再掲）専攻による試験区分（系）の指定

② 筆記試験の内容は次のとおりとします。

試験区分	基 礎 科 目	専 門 科 目	外国語
機 械 系	数 学	材料力学，機械力学，熱力学（伝熱を含む），流体力学，機械材料学，自動制御（計測を含む）の6科目からそれぞれ1問を出題，計6問のうちから2問選択 ただし，2問のうち1問以上は材料力学，機械力学，熱力学（伝熱を含む），流体力学のうちから選択	英 語
電 気 系	電気磁気学，電気回路		
化 学 系	有機化学，無機化学，物理化学，分析化学，化学工学の5科目から4科目選択	課しません。	
建 築 系	即日設計又は小論文のいずれかを選択	専門科目に関する口頭試問	
建設工学系	数学，物理学	水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学のうち2科目選択し，各科目2問の中から1問ずつ選択	
情 報 系	線形代数，微積分学，離散数学，計算機システム，データ構造とアルゴリズム及び情報光学の6分野から2分野を選択	課しません。	

各系の試験区分については、試験科目の特記事項があるので注意してください。

いずれの系においても外国語を除く筆記試験については、日本語・母国語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）の持ち込みを認めることがあります。希望する場合には、必ず志願票の該当する欄に記入してください。なお、試験時に、使用の可否について回答します。

※ 機械知能工学専攻、電気電子システム工学専攻、物質環境化学専攻、地球環境デザイン学専攻、学際先端システム学専攻に出願する国費外国人留学生（研究留学生）及び外国政府派遣留学生については、学力試験（筆記試験）を免除します。

③ 試験科目の特記事項

試験区分	特記事項
機 械 系	外国語（英語）については、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点、又は筆記試験の得点を利用します。出願時にTOEICスコアシートを提出した場合は筆記試験を免除しますが、筆記試験を受験することもできます。出願時にTOEICスコアシートを提出し、かつ、筆記試験を受験した場合は、TOEICスコアシートによる換算点と筆記試験の得点のうち高いほうを利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては、問い合わせに应じます。また、システムに障害がない限り、機械知能工学専攻・機械システム工学科のWebページ（http://www.mech.utsunomiya-u.ac.jp/）でも閲覧できます。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りま。
電 気 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りま。
化 学 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点を利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては、問い合わせに应じます。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りま。
建 築 系 建設工学系	1) 学際先端システム学専攻を志願する者は、専門科目として14頁に記された科目を解答する方法以外に、学際先端システム学専攻（建設工学分野）に関する小論文形式の問題を指定された数だけ専門科目の一部に置き換えて解答する方法を選ぶことができます。 2) 外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC公開テスト（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りま。

試験区分	特 記 事 項
情 報 系	1) 筆記試験の基礎科目で出題する各分野について、おもな出題内容を表すキーワードは以下のとおりです。 線形代数：行列と行列式，連立1次方程式，線形空間と線形写像，固有値と固有ベクトル，行列の対角化とジョルダン標準形，2次形式 微積分学：数列と級数，テイラー級数と整級数，1変数関数および多変数関数の微積分，極値問題とその応用，広義積分 離散数学：整数の性質，集合，写像，関係，数え上げと組み合わせ，母関数，グラフ理論 計算機システム：コンピュータの構成と動作原理，命令セットの方式(アドレッシング法，データの表現)，制御・演算・記憶・入出力各装置の構成 データ構造とアルゴリズム：リスト，スタック，待ち行列，木，探索，ハッシュ，整列 情報光学：反射と屈折，幾何光学，波動光学，干渉，回折 2) 筆記試験の基礎科目として「基礎科目2分野を選択」の代わりに，「基礎科目1分野とプレゼンテーション」を認める場合があります。プレゼンテーションでは，これまで行ってきた学習内容と今後の研究計画を要約して発表してもらい，これに関して質疑応答を行います。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」による受験を希望する者は，事前に，希望する指導教員と必ず連絡をとり，宛名を明記した返信用はがきを同封し，出願書類封筒に「プレゼンテーション希望」と朱書きしてください。 提出された資料に基づき，「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験の可否を判定します。判定結果は平成26年1月16日（木）までに通知します。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験が認められた場合には，基礎科目については，6分野から1分野を選択し1時間で解答してください。また，「基礎科目2分野を選択」の受験が妥当であると判断された場合には「基礎科目2分野を選択」で受験しなければなりません。 3) 外国語（英語）については，筆記試験を行わずに，TOEIC（TOEIC IP，カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ○ TOEICスコア750点以上を満点とし，スコアに応じた換算を行います。 ただし，有効なTOEICのスコアは，選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りま。

(4) 合 格 発 表

平成26年1月31日（金）13時（予定）工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また，合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので，必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合，工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。）なお，電話等による合否の照会には応じません。

(5) 注 意 事 項

- ① 希望指導教員には事前に連絡を取っておくこと。
- ② 出願資格①の修了見込みにより出願した者が入学試験に合格したときは，入学するまでに「修了証明書」を提出してください。
- ③ 出願資格①の修了見込みにより出願したが，修了しなかった場合は，合格を取り消します。
- ④ 各専攻において，学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

4. 学部3年次生特別選抜

(1) 出 願 資 格

平成26年3月末において大学に3年以上在学し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める者を対象とします。

この資格に定める者の範囲は、次のすべての要件を満たす者としてします。

- ① 平成26年3月末において、大学在学期間が3年間（休学期間を除く）に達すること。
- ② 機械知能工学専攻、電気電子システム工学専攻、地球環境デザイン学専攻、情報システム科学専攻、学際先端システム学専攻にあっては、平成26年3月末において、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部（基盤教育科目を含む）及びそれを含めて、卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであり、かつ、総修得単位の4/5以上が優以上の評語（点数評価の場合は100点満点で80点以上）を得る見込みであること。
- ③ 在籍する大学の学部長、学科長等の推薦を得ていること。

〔注意1〕

機械知能工学専攻、電気電子システム工学専攻、地球環境デザイン学専攻、情報システム科学専攻、学際先端システム学専攻にあっては入学試験に合格した後、平成26年3月末日までに上記(1)に定める所定の要件を欠いた場合は合格を取り消します。

〔注意2〕

合格者は、平成26年3月3日（月）までに在籍大学（学部）長から、本研究科長あてに成績証明書（第3年次終了までの成績が記載されたもの）を提出してください。

〔注意3〕

本選抜により入学した者は、学部を退学したものとして扱われます。したがって、種々の国家試験等の資格試験において、大学の学部を卒業していることを受験資格要件とするものについては、受験資格がないこととなります。

(2) 出願資格認定手続

- ① 出願しようとする者は、「出願資格認定申請書」、「推薦書」（以上本学所定用紙）、「成績証明書」、履修規程（授業内容一覧を含む履修の手引等）及び在学証明書（成績証明書、履修規程、在学証明書については、本学学生は不要）、速達料金350円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長3型）を同封のうえ、平成25年11月21日（木）から11月29日（金）までに工学部学生係に提出してください。
- ② 審査は、宇都宮大学大学院工学研究科において行い、結果は、平成25年12月24日（火）までに本人あて通知します。

(3) 出 願 手 続

① 出 願 期 間

平成26年1月7日（火）から1月10日（金）まで。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月10日（金）16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

一般選抜と同じ。ただし、志願票は特別選抜用を使用してください。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科学生係

(4) 学 力 検 査

① 試験の期日及び場所

試験区分	月 日	科目名	時 間	場 所
機 械 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 10時30分	宇都宮大学 工学部・工学 研究科
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	9時 ～ 11時	
		口述試験	13時 ～ 16時	
電 気 系	1月23日(木)	筆記試験	9時 ～ 12時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
化 学 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
建 築 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
建 設 工 学 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 12時	
		専門科目	13時 ～ 16時	
	1月24日(金)	外 国 語	記事事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	
情 報 系	1月23日(木)	基礎科目	9時 ～ 11時	
		外 国 語	特記事項参照	
		口述試験	13時 ～ 16時	

試験科目は試験区分ごとに定められています。各専攻は図1のように試験区分を指定しています。6つの試験区分の中から、希望する専攻の指定する試験区分1つを選択してください。

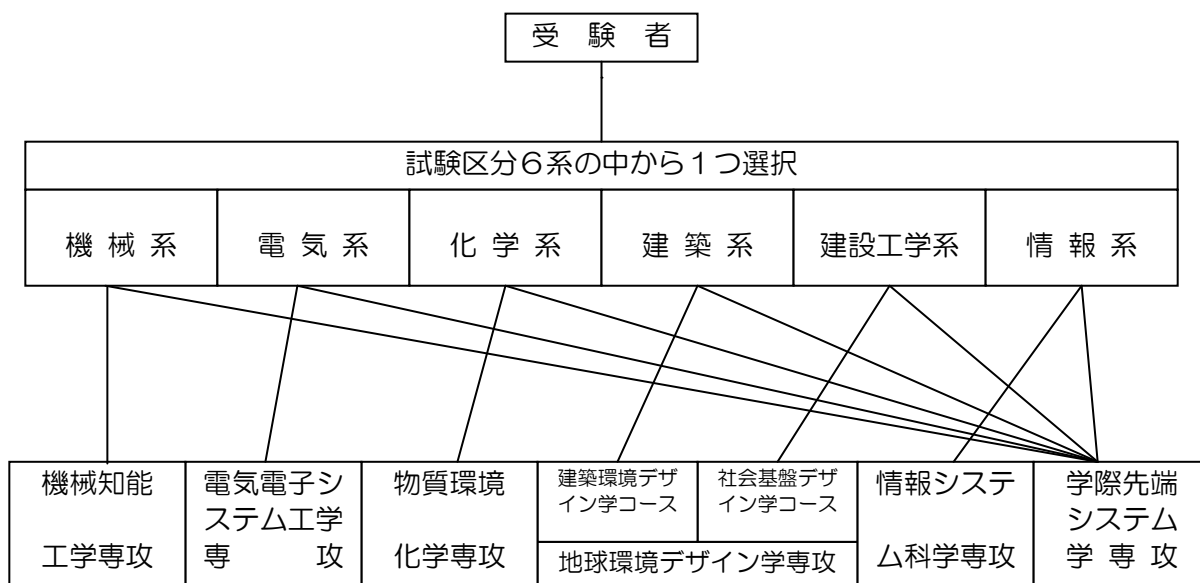


図1（再掲）専攻による試験区分（系）の指定

② 筆記試験の科目は次のとおりとし、口述試験を試験区分別に行います。

試験区分	基 礎 科 目	専 門 科 目	外国語
機 械 系	数 学	材料力学，機械力学，熱力学（伝熱を含む），流体力学，機械材料学，自動制御（計測を含む）の6科目からそれぞれ1問を出題，計6問のうちから4問選択	英 語
電 気 系	電気磁気学，電気回路		
化 学 系	有機化学，無機化学，物理化学，分析化学，化学工学の5科目から4科目選択	課しません。	
建 築 系	(建築学分野) 即日設計又は小論文のいずれかを選択	建築構造学，建築計画学，建築環境学，建築材料学につき各2問のうち1問ずつ選択 ただし，希望専門分野は2問解答	
建設工学系	(建設工学分野) 数学，物理学	水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学につき各2問のうち1問ずつ選択	
情 報 系	線形代数，微積分学，離散数学，計算機システム，データ構造とアルゴリズム及び情報光学の6分野から2分野を選択	課しません。	

注）試験科目の特記事項があるので注意してください。

③ 試験科目の特記事項

試験区分	特 記 事 項
機 械 系	外国語（英語）については，TOEIC（TOEIC IP，カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点，又は筆記試験の得点を利用します。出願時にTOEICスコアシートを提出した場合は筆記試験を免除しますが，筆記試験を受験することでもあります。出願時にTOEICスコアシートを提出し，かつ，筆記試験を受験した場合は，TOEICスコアシートによる換算点と筆記試験の得点のうち高いほうを利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては，問い合わせに応じます。また，システムに障害がない限り，機械知能工学専攻・機械システム工学科のWebページ（http://www.mech.utsunomiya-u.ac.jp/）でも閲覧できます。 ただし，有効なTOEICのスコアは，選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。

試験区分	特 記 事 項
電 気 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。
化 学 系	外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアによる換算点を利用します。TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては、問い合わせに応じます。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。
建 築 系 建設工学系	1) 学際先端システム学専攻を志願する者は、専門科目として19頁に記された科目を解答する方法以外に、学際先端システム学専攻（建築学分野、建設工学分野）に関する小論文形式の問題を指定された数だけ専門科目の一部に置き換えて解答する方法を選ぶことができます。 2) 外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC公開テスト（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く。）のスコアを以下のように換算使用します。 ① TOEICのスコア750点以上の場合 満点 ② TOEICのスコア750点未満の場合 換算点＝（満点）×（TOEICのスコア）／750 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。
情 報 系	1) 筆記試験の基礎科目で出題する各分野について、おもな出題内容を表すキーワードは以下のとおりです。 線形代数：行列と行列式，連立1次方程式，線形空間と線形写像，固有値と固有ベクトル，行列の対角化とジョルダン標準形，2次形式 微積分学：数列と級数，テイラー級数と整級数，1変数関数および多変数関数の微積分，極値問題とその応用，広義積分 離散数学：整数の性質，集合，写像，関係，数え上げと組み合わせ，母関数，グラフ理論 計算機システム：コンピュータの構成と動作原理，命令セットの方式(アドレッシング法，データの表現)，制御・演算・記憶・入出力各装置の構成 データ構造とアルゴリズム：リスト，スタック，待ち行列，木，探索，ハッシュ，整列 情報光学：反射と屈折，幾何光学，波動光学，干渉，回折 2) 外国語（英語）については、筆記試験を行わずに、TOEIC（TOEIC IP、カレッジTOEICを除く）のスコアを以下のように換算使用します。 ○ TOEICスコア750点以上を満点とし，スコアに応じた換算を行います。 ただし、有効なTOEICのスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りします。

(5) 合格発表

機械知能工学専攻，電気電子システム工学専攻，地球環境デザイン学専攻，情報システム科学専攻，学際先端システム学専攻

平成26年1月31日（金）13時（予定）

工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また，合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので，必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合，工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。）なお，電話等による合否の照会には応じません。

(6) 注意事項

- ① 希望指導教員には事前に連絡を取っておくこと。
- ② 各専攻において，学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

Ⅲ. 出願資格⑩の申請方法等について（一般選抜，社会人特別選抜）

- ① 個別の入学資格審査を受けようとする者は，「入学試験出願資格個別審査申請書」「入学希望理由書」「経歴書」「学術論文等の要旨・研究経過報告書」「研究業績調書」（以上本学所定用紙），論文の写し等，最終学校の「学業成績証明書」，「卒業（修了）証明書」，大学卒業までに16年を要しない国の大学を卒業した者にあつては，「研究従事証明書」，速達料金350円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長3）を同封のうえ，平成25年11月21日（木）から11月29日（金）までに工学部・工学研究科学生係に提出してください。
- ② 審査は，宇都宮大学大学院工学研究科において行い，結果は，平成25年12月24日（火）までに本人あて通知します。

Ⅳ. 入学手続

合格者は所定の期日までに入学手続をしなければなりません。平成26年3月3日（月）から3月5日（水）までとします。詳細（入学料・授業料免除申請を含む）については，合格通知書とともに送付します。

Ⅴ. 入学料及び授業料等

（1）入学料及び授業料等

入学料 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※ 入学料及び授業料は予定額ですので，改定されることがあります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には，改定時から新授業料が適用されます。

※ 授業料は，半期分（267,900円）をそれぞれ指定期日までに納付してください。

（2）学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（2年間分）〔平成25年4月現在〕

2,430円

Ⅵ. 長期履修学生制度

この制度は，職業を有していること等により標準修業年限内での修学が困難な者に対して，標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できる

ようにするものです。教育課程表や履修すべき総単位数は2年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年分を3年に分割して納入することになります。すなわち2年間(4学期)の授業料を3年間(6学期)に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。(ただし、授業料が改訂された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。)

長期履修学生として認められるためには、必要書類を添付の上、宇都宮大学長に申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなって、通常の授業料が適用されることになります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長(3年を4年に)または短縮(4年を3年に)することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

1. 新規申請

① 入学時に申請する場合

4月入学者・・・当該入学年度開始前の3月の入学手続き期間中

② 在学中に申請する場合

4月入学者・・・長期履修開始前年度の2月末日まで

2. 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は、許可されている長期履修期間が終了する月の前月末日までに、短縮を希望する場合は、修了を予定する月の前月末日までに、長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、工学部・工学研究科学生係において受け付けます。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

Ⅶ. 疾病・負傷や身体障害による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で特別な措置を必要とする場合は、平成25年11月21日(木)までに工学部・工学研究科学生係へ相談してください。

事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で特別な措置が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

Ⅷ. 注意事項

① 学生募集に関する照会は、宇都宮大学工学部・工学研究科学生係において受け付けます。

郵便で照会する場合は、返信用封筒(住所、氏名明記、80円切手貼付)を同封してください。

② 募集要項の送付を希望する場合は、封筒の表に「大学院博士前期課程学生募集要項請求」と朱書し、240円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(角2)を同封のうえ請求してください。

③ 出願手続終了後は、提出書類の変更、入学検定料の返戻には応じません。

④ 出願者に対する宿泊施設の斡旋はしません。

⑤ 試験当日は、筆記試験開始後30分までに試験室に入室した者については、受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

Ⅸ. 日本学生支援機構奨学金

奨学金を希望される方は、本学ホームページをご覧ください。

http://www.utsunomiya-u.ac.jp/campuslife/scholarship_kikou.html

Ⅷ. 各専攻長と問い合わせ先

・機械知能工学専攻
吉田勝俊教授

028-689-6054

e-mail : yoshidak@cc.utsunomiya-u.ac.jp

・電気電子システム工学専攻
入江晃亘教授

028-689-6129 (学科事務室)

e-mail : office@ee.utsunomiya-u.ac.jp

・物質環境化学専攻
柿井一男教授

028-689-6167

e-mail : kakii@cc.utsunomiya-u.ac.jp

・地球環境デザイン学専攻
中島章典教授

028-689-6232 (学科事務室)

e-mail : hot@cc.utsunomiya-u.ac.jp

・情報システム科学専攻
伊藤聡志教授

028-689-6265 (学科事務室)

e-mail : secretar@is.utsunomiya-u.ac.jp

・学際先端システム学専攻
今泉繁良教授

028-689-6217

e-mail : imaizumi@cc.utsunomiya-u.ac.jp

平成25年11月

宇都宮大学大学院工学研究科

郵便番号 321-8585

宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科内

電話 028-689-6003 (学生係)

☆ 主要日程

	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜
出願期間	平成26年1月7日（火）～ 1月10日（金） 9時～16時
試 験 日	平成26年1月23日（木）～ 1月24日（金） 9時～ （社会人特別選抜は24日（金）のみ。ただし、試験区分が電気系、化学系 及び情報系は全ての選抜について23日（木）のみ実施）
合格発表	平成26年1月31日（金） 13時予定

過去の入学試験問題の開示について

工学研究科では、過去5年間の入学試験問題を開示しています。

開示場所 学務部入試課及び工学部・工学研究科学生係
 窓口での閲覧可

開示時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日及び平成25年12月28日（土）～
 平成26年1月5日（日）は除く。）

☆ 問い合わせ先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2

宇都宮大学工学部・工学研究科学生係

電話 028-689-6003